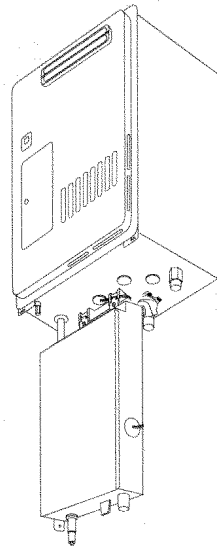


屋外設置形

ガス給湯器

633 - 1000 型

型式名 GS - 3 2 0 GW



取扱説明書



ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)
大阪ガスに連絡してください。

0E0030

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

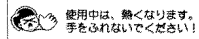
⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX 参照) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について■



やけど注意

- 排気口や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

コードラベル

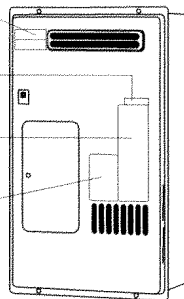
- 品名を表示しています。

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。

銘板

- 型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのご給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございました。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

この製品の特長

- お使いになる湯温や、湯量に応じてガス量を自動調節します。
- 冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。
- 別売のリモコンを取付けると、給湯温度は37～75℃の間で、16段階に調節できます。メインリモコン(38-207)を取付けますと、施工時に、37～80℃の間で16段階の調節ができる設定(高温対応)にすることも可能です。(14ページ参照)
- 1台だけでなく、2台から20台までのマルチ設置が可能です。(最大660号)
- この機器は従来品と比べ、熱効率が約15%高くなっており、ガスをより効果的にお使いいただけます。また環境面でもCO₂削減に貢献します。

☆安全に正しくお使いいただくために・・・この取扱説明書の表示について 機器本体の表示について	1
☆この製品の特長	2
☆必ずお守りください	3
☆各部の名称とはたらき	8
☆ご利用前の準備 メインリモコン〔38-207〕の現在時刻の合わせかた	11
☆お湯を使う 操作の基本 優先の切替えについて 給湯温度の調節	12
☆プログラム運転を使う プログラム運転について プログラム時刻の合わせかた プログラム運転のしかた	15
☆故障かな?と思ったら お湯の出かた 機器本体 リモコン リモコンのアラーム番号が出たとき	19
☆冬期の凍結予防をするには	23
☆点検のポイント・お手入れのしかた	27
☆寸法図	29
☆仕様	31
☆アフターサービスについて	32

お使いいただくまえに
使いかた
故障かな?と思ったら
長くお使いいただくために

必ずお守りください

⚠️ 危険

屋外用ガス機器

●この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。不完全燃焼を起こし、大変危険です。

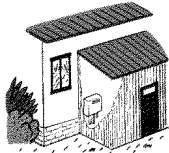
⚠️ 警告

機器設置（および付帯工事）

●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後に機器を波板などで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

ガス漏れ時の注意

●ガス漏れに気づいたときは、すべての処置が終わるまでのあいだ絶対に機器の運転をしたり、機器の近くで電気器具のスイッチの入・切や火を近づけたり、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災になることがあります。

- ①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。
- ②お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者（供給業者）へ連絡する。



火気厳禁



使用ガス、使用電源について

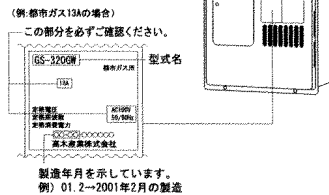
●銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する。表示のガスおよび電源が一致しないと使用できない。もし、使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、また機器が故障する場合があります。

●転居されたときも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめる。

●わからない場合はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



ガス種・電源を確認



⚠️ 警告

火災予防

(可燃物に注意)

- 機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 排気口は洗濯物などでおわかない。不完全燃焼の原因となります。
- (スプレー缶厳禁)
- 機器口の周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- (引火のおそれがあるものの使用禁止)
- 機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。



禁止



給湯・シャワーを使うとき

- やけど防止のため始めのお湯はいきなり体にかけない。万一の機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出る場合があります。
- 給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。
- シャワーを使うときに最初に熱いお湯が出るがあるので注意する。手で温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- シャワー、給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。



手で温度を確かめる



ソーラーシステムと接続する場合

- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度より高くなる場合がありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確認してからご使用ください。

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。接続はお買い上げの販売店、または大阪ガスが行いますので、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご相談ください。

お子様には十分な注意を

- 浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。



異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②本書の「故障かな?と思ったら」(P.19~P.22)に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音、異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。
- 地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉じる。



給湯栓・ガス栓を閉じる



分解禁止

分解しない

- お買い上げの販売店、または大阪ガス以外の人による分解、修理、改造は絶対に行わない。異常作動して事故の原因となります。

必ずお守りください

⚠ 注意

電気事故防止

- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 傷んだプラグ、コードは使わない。差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



禁止



- 電源プラグのはこりは、拭き取る。発火の原因になります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続せよ

お願い

断水するとき

- 断水の場合は、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの表示を確認し、設定が必要なときは、各設定（給湯温度・現在時刻など）を行ったのちご使用ください。



給湯栓を閉じる



用途についての注意

- 台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

やけどに注意

- 機器の使用時または使用後は排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。



接触禁止

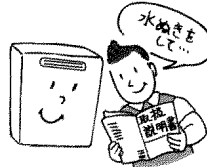


雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

長期間使用しないときは

- この取扱説明書P.24の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



お願い

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。



おそうじなどに利用

市販の補助用具について

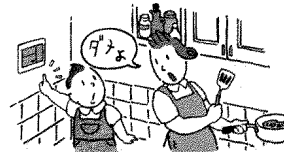
- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- メインリモコン、サブリモコンには水をかけないでください。防湿型サブリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- リモコンはお子様がいたらずらさないよう注意してください。



分解禁止



凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.23「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P.25「再使用するとき」の項以下の操作を行ってください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額の修理費がかかります（有料）。
- 凍結予防のために電気を使用していますので緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください（詳しくはP.27をご覧ください）。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。
- 燃焼中にドレン口から、スムーズに排水されているか点検してください。ゴミ等によって閉塞されないよう定期的に掃除してください。

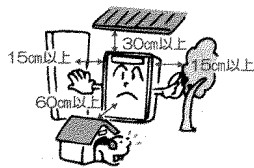
お使いいただくまで

設置する場所や状況について

お願い

可燃物との離隔距離

- 機器および排気筒トップを設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください(不明な点は販売店へご相談ください)。



機器の設置の確認

- この機器は高効率のため、強酸性のドレン水が排出されます。そのドレン水を中性(中和)にするために中和器を通して排出します。必ず付属の中和器を施工時に機器へ取り付けください。中和器を取りつけないとドレン水により建物の外壁や排水配管等を腐食させることがあります。

排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気口の周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。



塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

給排気について

- 機器は給排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。
- この機器は従来の給湯器に比べて熱効率が高いため、排気口から白煙が出やすくなっています。これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。地下水や温泉水、井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。保証期間内でも有料修理となります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。(厨房の排気ダクトの近くは油煙による不具合の原因となります。)

乾電池に関するご注意

- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は必ず乾電池を取り外してください。そのまましておきますと、思わぬ事故の原因になります。

各部の名称とはたらき

この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

お使いいただくために

■機器本体

排気口

排気が出ます。

燃焼ランプ

燃焼中に点灯します。

点検扉

給湯接続口

水抜き栓

機器の水を抜くとき外します。

電源プラグ・電源コード

メインリモコン

〔38-207〕(別売品)

防湿型サブリモコン

〔38-209〕(別売品)

サブリモコン

〔38-208〕(別売品)

フロントカバー

給気口

水抜き栓

機器の水を抜くとき外します。

ガス栓

給水元栓

中和器

強酸性のドレン水を中和します。

ドレン口

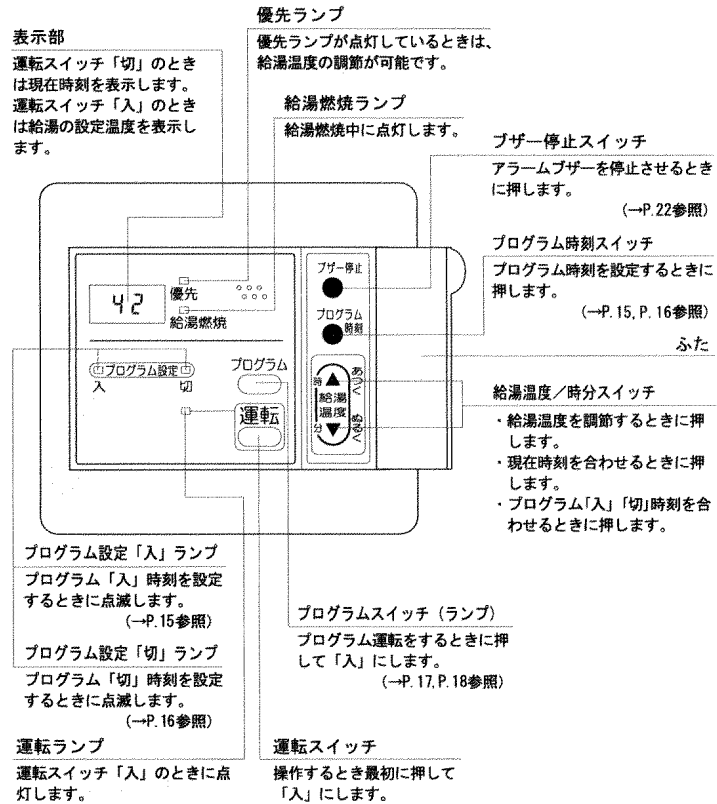
中和されたドレン水が出ます。

水抜き栓

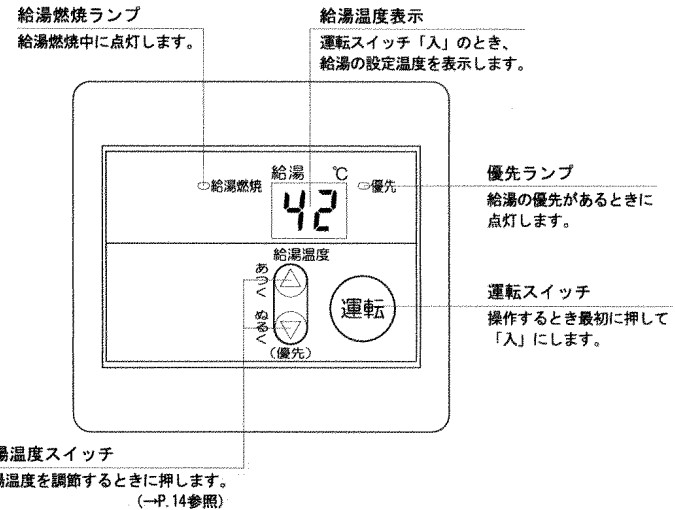
機器の水を抜くとき外します。

各部の名称とはたらき

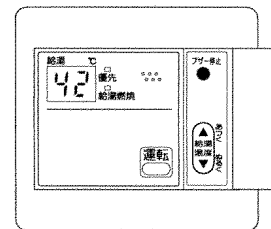
■メインリモコン [38-207] (別売品)



■防湿型サブリモコン [38-209] (別売品)



■サブリモコン [38-208] (別売品)



メインリモコン、防湿型サブリモコンの付いている所以外から、運転スイッチの「入」・「切」、給湯温度の調節、プザー停止ができません。各部のはたらき、使用方法はメインリモコン [38-207] と同じですが、プログラム運転設定、及び時計表示はできません。

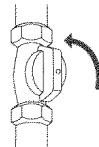
お使いいただくまえに

ご利用前の準備 はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

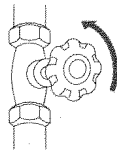
■機器の準備

1 この取扱説明書のP. 27の内容に従って
機器や機器周辺の点検を行います。

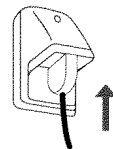
4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



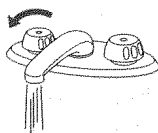
2 給水元栓を全開にします。
機器の下にあります。



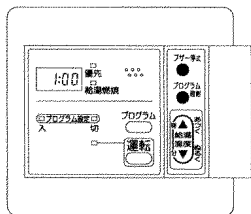
5 電源プラグを
コンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。



3 給湯栓を開け、
水が出ることを確認したら
閉じます。



メインリモコン [38-207] の現在時刻の合わせかた



設定した現在時刻は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、電源プラグを約50分以上抜いたままにしたとき、また約50分以上停電したときは1:00に切り替わります。再度設定してください。

①時/分スイッチを同時に押す。



点滅
1:00
・時刻表示が点滅します。

②時スイッチを押して時の位を合わせる。



点滅
10:00
・時間の表示は24時間表示です。
・(0:00~23:59)
(例) 10:10に設定

③分スイッチを押して分の位を合わせる。



10:10
・時刻合わせ後約10秒で時刻表示が点滅から点灯にかわり、設定終了となります。

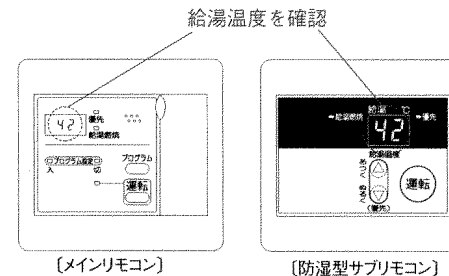
●スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

お湯を使う

■操作の基本 リモコンのスイッチをONにして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

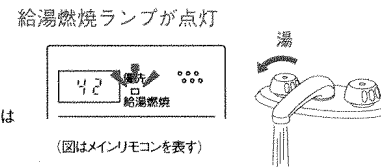
1 メインリモコンまたは防湿型サブリモコンに
給湯温度が表示されているか
確認します。

表示されていないときは、
運転スイッチを押す。



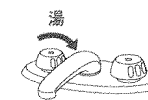
2 給湯栓を開けます。
しばらくしてお湯が出ます。
給湯燃焼ランプが点灯します。

はじめてお使いになるときの給湯温度は
42℃に設定されています。



止めるには
お湯を
給湯栓を閉じ、お湯を止めます。

お湯が止まると、給湯燃焼ランプが消灯します。
(ただし、他の給湯栓が使用中のときは消えません。)



⚠警告 ●給湯、シャワー等を使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

📌ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- 従来の給湯器に比べて熱効率が高いため、排気口から白煙が出やすくなっています。これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

✖️

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります。)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。
- 水温が30℃近くなる夏季では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

使いかた

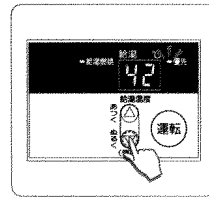
お湯を使う

■優先の切替えについて
メインリモコンの給湯温度で浴室のシャワーを使うと熱い場合があります。給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。シャワーを使うときは、浴室の防湿型サブリモコンを優先にし、防湿型サブリモコンで設定した湯温でシャワーを使えます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

■優先を切替える

1 メインリモコンが優先のときに防湿型サブリモコンを優先にするには防湿型サブリモコンの スイッチを押します。

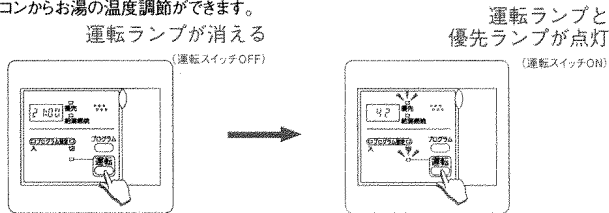
防湿型サブリモコンに優先ランプが点灯します。
防湿型サブリモコンが優先となり、防湿型サブリモコンからお湯の温度調節ができます。



[防湿型サブリモコン]

2 防湿型サブリモコンが優先のときにメインリモコンを優先にするにはメインリモコンの運転スイッチをOFFにして再度ONにします。

メインリモコンに優先ランプが点灯します。
メインリモコンが優先となり、メインリモコンからお湯の温度調節ができます。



運転ランプが消える
(運転スイッチOFF)

運転ランプと優先ランプが点灯
(運転スイッチON)

▲警告 ●シャワー・給湯の使用中に優先を切替えない。お湯の温度が急変してやけどをするおそれがあります。

●ご注意ください

- メインリモコンでは優先ランプが点灯していないときに給湯温度を設定しようとすると、「ビビビビ」と警告音が鳴って受け付けません。優先を切替えてから給湯温度を設定してください。
- 優先を切替えるときは他の場所で使われていないことを確認してから切替えてください。



●優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃以上だった場合には、自動的に55℃にセットし直されます。

- やけどを防ぐため、サーモスタート付混合水栓の使用をお勧めします。
- 別売のサブリモコン (38-208) を設置している場合。
 - ・メインリモコンが優先のときは、サブリモコンにも優先があります。
 - ・サブリモコンとメインリモコンは連動しています。サブリモコンのスイッチをONにすると、メインリモコンとサブリモコンの両方に優先ランプが点灯し、メインリモコンでも給湯温度を調節できます。

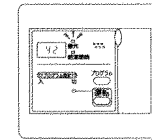
■給湯温度の調節

メインリモコン、防湿型サブリモコンでお湯の温度を調節します。

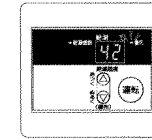
1 給湯温度を調節したいリモコンに優先ランプが点灯しているか確かめます。

優先ランプが点灯していないときには、P.13に従って点灯させてください。

優先ランプが点灯



[メインリモコン]



[防湿型サブリモコン]

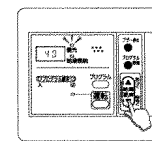
2 給湯温度スイッチで給湯温度を調節します。

- ▲ スイッチを押すと温度が高くなります。
- ▼ スイッチを押すと温度が低くなります。

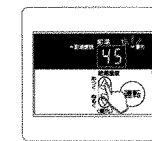
以下の16段階で設定できます。

標準	→	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60	70	75
高温対応	→	37	38	39	40	41	42	43	44	45	50	55	60	65	70	75	80
											食器洗いなど	シャワー・給湯など					混合水栓で使うときやおふろへのあついたし湯など

※上記のどちらかに設定できます。(目安の温度)
※給湯温度の高温対応の設定は、設置工事時に行います。設定は施工業者に確認してください。(メインリモコン取付け時)



[メインリモコン]



[防湿型サブリモコン]

- お願い
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃以上には設定できません。60℃以上に設定しようとすると「ビビビビ」と警告音が鳴って受け付けません。
 - 上記で60℃以上に設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。



- はじめてお使いのときは、給湯温度表示が42℃になります。
- 通常、給湯温度は運転スイッチをOFFにしても記憶されていますが、給湯温度を60℃以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

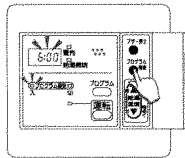
使いかた

プログラム運転を使う

- プログラム運転について
プログラム運転はメインリモコンを取付けている場合に使えます。毎日決まった時刻に自動で運転の「入」/「切」ができます。
- プログラム時刻の合わせかた
まず、メインリモコンの現在時刻が合っているかを確認します。合っていない場合は合わせてください。(→P.11 参照) そのあとプログラム時刻を合わせます。

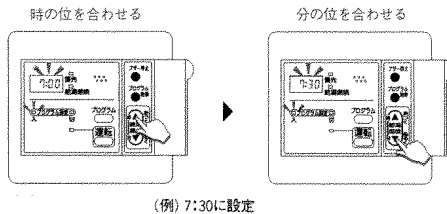
- 1 プログラム時刻スイッチを押します。
- 「入」の時刻が点滅し、プログラム入ランプが点滅します。

「入」時刻表示と
プログラム入ランプが点滅



- 2 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

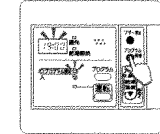
時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。



(例) 7:30に設定

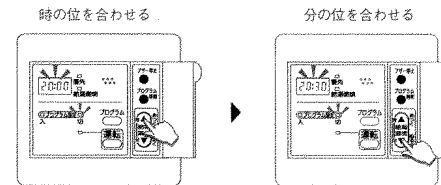
- 3 プログラム時刻スイッチを押します。
- 「切」の時刻が点滅します。プログラム入ランプが消灯し、プログラム切ランプが点滅します。

「切」時刻表示と
プログラム切ランプが点滅



- 4 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。約10秒後、表示部が現在時刻表示、または給湯温度表示に戻り、プログラム切ランプが消灯します。



(例) 20:30に設定

- セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので、利用する時刻が決まっているときはプログラム時刻は毎日セットする必要はありません。
- ▲▼※スイッチは押し続けると連続的に数字が変わります。

使いかた

プログラム運転を使う

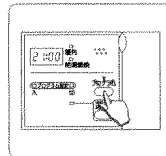
■プログラム運転のしかた

- メインリモコンの現在時刻・プログラム時刻を確認してください。プログラム時刻の確認は、プログラム時刻スイッチのみを押して行ってください。1回押すごとに順次表示します。
- プログラム時刻の変更は“プログラム時刻の合わせかた”(P.15)を参照してください。

プログラム運転を
セットする

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが点灯します。
プログラム運転がセットされた状態になります。

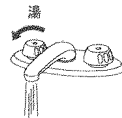
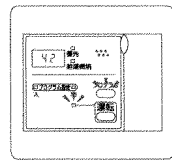


(図の時刻表示は現在時刻を表示しています。)

「入」時刻になると

運転が「入」になり、
運転ランプが点灯します。
表示部が給湯温度表示になります。
給湯栓を開ければお湯が出ます。

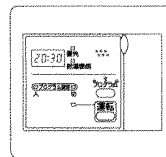
運転ランプが点灯



「切」時刻になると

運転が「切」になり、
運転ランプが消灯します。
メインリモコンでは表示部が
現在時刻表示になります。
防湿型サブリモコン・サブリモコンでは
給湯温度表示が消えます。

運転ランプが消灯



- お願い**
- プログラム運転中(プログラムスイッチ点灯中)でも、運転ランプ(メインリモコン)が消灯しているときは給湯栓を開けてもお湯は出ません。給湯を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてから使用してください。

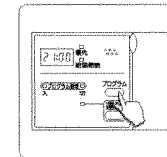
プログラム運転を
解除する

運転の停止中に解除した場合

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが消灯し、
プログラム運転が解除された状態になります。

プログラムスイッチが消灯

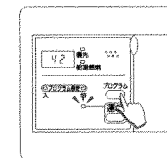


運転中に解除した場合

プログラムスイッチを押します。

プログラム運転は解除されますが、
通常運転になります。
プログラムスイッチは消灯し、
運転ランプは点灯したままです。

プログラムスイッチは消灯。
運転ランプは点灯したまま



プログラム運転
中は停止
するには

プログラム運転中(プログラムランプ点灯中)に
運転を停止するときは、

運転スイッチを押します。

運転動作が変わり(運転→停止、停止→運転)もう1度押すもとに戻ります。
運転中は運転ランプが点灯し、停止中は消灯します。
プログラム運転の設定は解除されません。
(プログラムスイッチは点灯したままです。)

- お願い**
- プログラム運転をセットした後、停電や電源プラグを抜いたときは、セットが解除されます。電源復帰後、プログラムスイッチを押してセットし直してください。

故障かな?と思ったら

■お湯の出かた

こんなとき	故障ではありません
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出ない	最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。
夏などぬるいお湯が出ない	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなる場合があります。
冬などあついお湯が出ない	お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。
給湯栓を絞らずに水になった	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。
お湯が白く濁って見える	水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。

こんなとき	ここを調べてください
あついお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ◎湯温調節は適切ですか? (P. 14) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
ぬるいお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ◎湯温調節は適切ですか? (P. 14) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 28) ◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)
お湯が出ない (運転しない)	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P. 11) ◎停電していませんか? (P. 5) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 28) ◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12) ◎断水していませんか? (P. 11) ◎凍結していませんか? (P. 26)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

■機器本体

こんなとき	故障ではありません
寒い日に排気口から白い湯気が出る	冬に吐く息が白いのと同じように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。この機器は特に熱効率が高いため、白煙が出やすくなっています。
出湯停止後もファンの回転音がる	再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。
給湯栓を閉じると、給水側の水抜き栓から一瞬水が漏れる	給水側の水抜き栓は過圧逃し弁をかかえています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。

こんなとき	ここを調べてください
燃焼ランプが点灯しない (運転しない)	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11) ◎停電していませんか? (P. 5) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 28) ◎給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12) ◎断水していませんか? (P. 11) ◎凍結していませんか? (P. 26) 上の8項目を確認して、*リセット操作をしてください。
燃焼ランプが点滅した	<ul style="list-style-type: none"> ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 28) 上の3項目を確認して、*リセット操作をしてください。
使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎設定温度が低過ぎませんか? (P. 14)

*リセット操作
運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

故障かな?と思ったら

故障かな？と思ったら

■リモコン

こんなとき	故障ではありません
現在時刻が合っていない	約50分以上の停電があったときや、約50分以上電源プラグを抜いた後再通電すると時刻が1:00から進み始めます。再度、現在時刻を合わせてください。(メインリモコンを取付けている場合。)
こんなとき	ここを調べてください
画面表示しない	◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ (P. 11)
リモコンの運転ランプが点灯しない	◎停電していませんか？ (P. 5)
給湯燃焼ランプが点灯しない (運転しない)	◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ (P. 11)
	◎停電していませんか？ (P. 5)
	◎ガス栓が全開になっていますか？ (P. 11)
	◎給水元栓が全開になっていますか？ (P. 11)
	◎給水口フィルターが詰まっていますか？ (P. 28)
	◎給湯栓が十分に開いていますか？ (P. 12)
	◎断水していませんか？ (P. 26)
	◎凍結していませんか？ (P. 26)
上の8項目を確認して、*リセット操作をしてください。	
リモコンのアラーム番号が表示されたとき	リモコンのアラーム番号を確認してください。(P. 22)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

*リセット操作
運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

■こんな場合には安全装置が働きます。() はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を予防します。・・・凍結予防装置
- バーナーが正常に燃焼しないときに作動し、ガスを自動的に停止します。(121) ・立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。・・・漏電安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721) ・・・・残火安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(141) ・・・・過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の破損を防止します。・・・過圧防止安全装置

■リモコンのアラーム番号が出たとき

- メインリモコンおよびサブリモコンは、アラーム番号の表示点滅と同時にアラームブザーが鳴ります。アラームブザーの解除はメインリモコンまたはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。(アラームブザーは解除しますが、アラーム番号の点滅表示は解除されません。)防湿型サブリモコンは、アラーム番号の表示点滅のみでブザーは鳴りません。
- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは表示されているアラーム番号もお知らせください。

例：図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。



本体表示	アラーム番号	原因	処置
燃焼ランプ点滅	031 (03) 141 (14)	温度制御異常のため	↓
	711 (71)		
	741 (74) 751 (75)		
燃焼ランプ点滅	701 (70)	設定温度より高い温度で出湯されたため (50℃以下の設定温度で60℃以上のお湯が出たため)	
	111 (11) 121 (12)	火がつかないときや、使用中に炎が消えてしまったため	
	311 (31) 321 (32) 331 (33)	温度検出器の故障のため	
	391 (39) 611 (61) 721 (72)	燃焼系の故障のため	
	510 (51)	ガス回路の故障のため	
	651 (65) 661 (66) 541 (54)	水回路の故障のため	
101 (10)	給排気の異常が発生したため 燃焼異常検知装置が作動した	使用できますが十分な性能が出ない状態ですので、なるべく早く修理を依頼してください。	
燃焼ランプ点滅	991 (99)	燃焼異常が発生したため 燃焼異常検知装置が作動した	機器を使用できません。 電源プラグを抜かずガス栓・給水元栓を閉じて修理を依頼してください。
	921 (92)	中和器の交換寿命または 中和器のつまりや異常のため	

() 内は防湿型サブリモコン、サブリモコンの表示です。

- “921 (92)”は中和器に関するアラームですので“921 (92)”がでましたら、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。中和器の交換寿命になるとまず、“921 (92)”のアラーム点滅、およびブザーでお知らせいたします。それでもお気づきにならない場合は製品の能力は約1/3に落ち、しばらくすると機器は停止して使用できなくなります。中和器の交換寿命になりましたら早い時期に中和器の交換をお願い致します。

故障かな？と思ったら

冬期の凍結予防をするには

■凍結予防装置について

通常の寒さのとき(外気温-15℃、有風5m/s程度まで)
この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。そのため外気温-15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。



- お願い**
- 凍結予防装置は電源プラグを抜くと作動しませんのでご注意ください。
 - 機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、以下のいずれかの方法で凍結予防をしてください。

1. 給湯栓を開いて水を流す方法 2. 機器の水を抜く方法

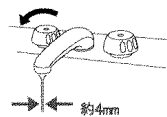
1. 給湯栓を開いて水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。



3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc(牛乳びん2本ぐらい)の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



2 ガス栓を閉じます。

- お願い**
- 次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。
 - 凍結予防装置は電源プラグを抜いたり、電源ブレーカーを切ると作動しません。絶対に電源プラグを抜いたりブレーカーを切ったりしないでください。

- XE**
- 1. 給湯栓を開いて水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

凍結を予防するための操作について説明します。

2. 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

- 注意**
- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

1 ガス栓(1)を閉じます。

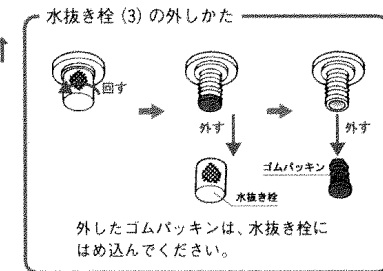
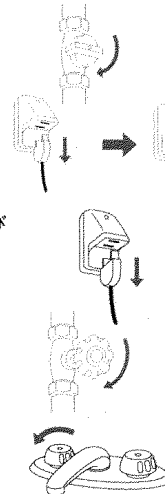
2 電源プラグ(7)を抜き、再度コンセントに差込みます。

3 15秒ほど待ち、再び電源プラグ(7)を抜きます。

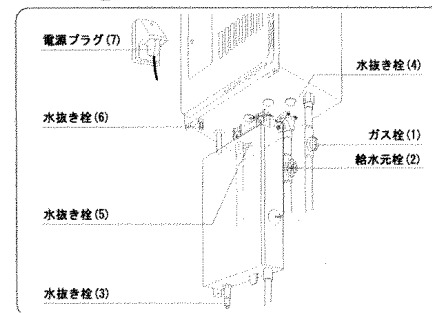
4 給水元栓(2)を閉じます。

5 すべての給湯栓を全開にします。

6 水抜き栓(3)(4)(5)(6)を外して水が出ることを確認します。



・以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。



- お願い**
- 水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

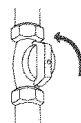
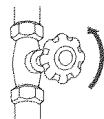
機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときには次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓 (3) (4) (5) (6) およびすべての給湯栓を閉じます。
- 3 電源プラグ (7) をコンセントに差し込みます。

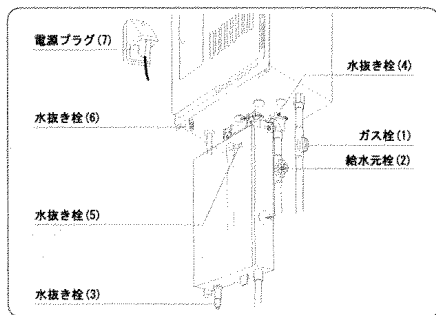
水抜き栓 (3) はゴムパッキンがはめ込まれていることを確認してください。(→P.24 参照)



- 4 ガス栓 (1) を開けます。



- 2 給水元栓 (2) を開けて、再度、すべての給湯栓を開けて水が出ることを確認します (機器や配管より水漏れがないか確認してください)。



お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

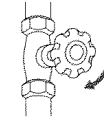
■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

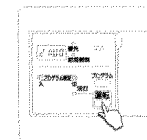
- 1 ガス栓 (1) を閉じます。



- 2 給水元栓 (2) を閉じます。
(配管が破損していると、解凍したときの水漏れの原因になります。)

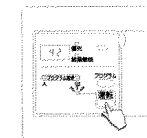


- 3 運転スイッチを「切」にします。



- 4 ときどき給水元栓 (2) と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。通水したら機器および配管より水漏れがないことを確認してください。ガス栓 (1) を開けます。

- 5 運転スイッチを「入」にします。



お願い ●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額な修理費用 (有料) がかかる場合があります。
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント

次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
- 6 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか？
排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には排気口とその付近の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- メインリモコン、サブリモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、防湿型サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

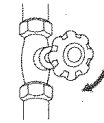
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

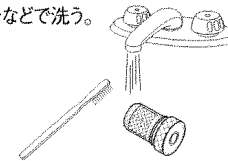
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に新築などの場合）

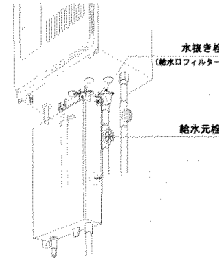
1 給水元栓を閉じる。



3 歯ブラシなどで洗う。



2 給水接続口にある水抜き栓を外す。



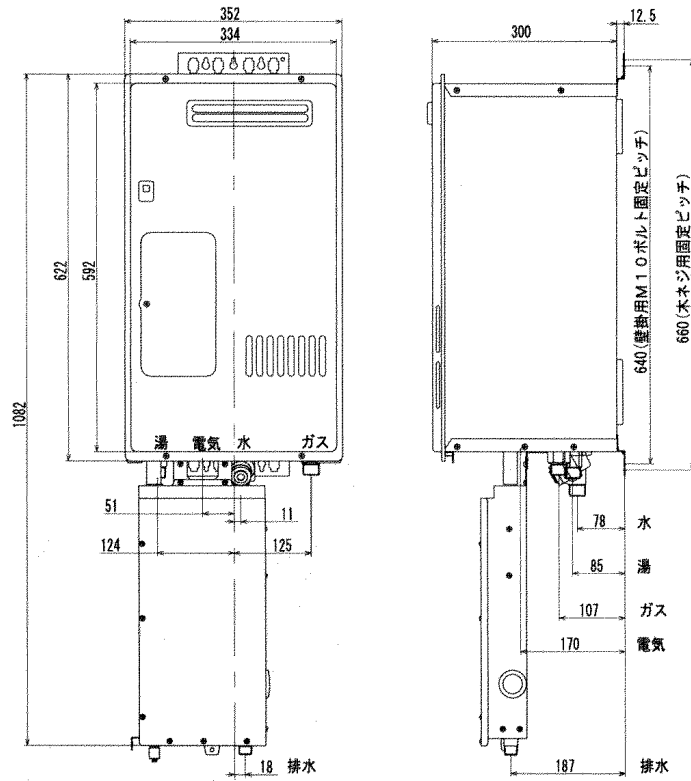
4 元のように取り付ける。

- 給水口フィルターを外すと水が出ます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。

寸法図

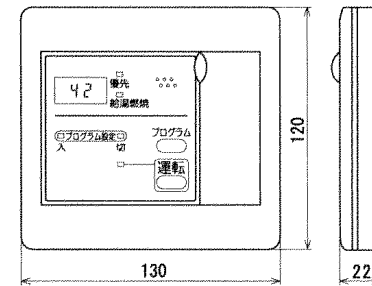
■機器本体

(単位：mm)

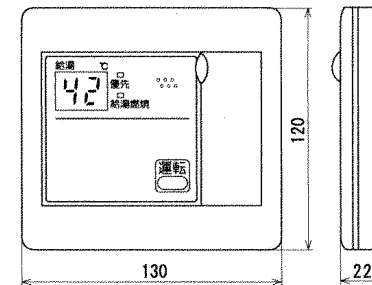


■メインリモコン [38-207]

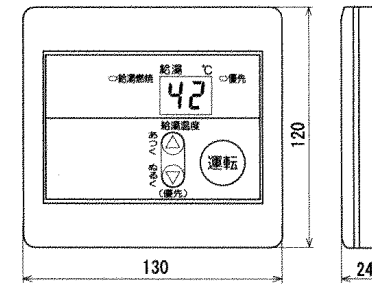
(単位：mm)



■サブリモコン [38-208]



■防湿型サブリモコン [38-209]



長くお使いいただくために

仕様

【仕様表】

項	目	内容
品	名	633-1000
型	式	GS-320GW
外形寸法 (mm) / 質量 (kg)		幅352 × 奥行300 × 高さ622 / 本体33, 中和器6
種	給湯方式	先止め式
類	設置方式	屋外設置形
点	火方式	AC100V連続放電式 (ダイレクト着火)
水	使用水圧	100kPa ~ 800kPa
圧	最低作動水圧	10kPa
接	ガス	20A (R3/4) オネジ
給	水	20A (R3/4) オネジ
続	給湯	20A (R3/4) オネジ
排	水 (中和器)	15A (R1/2) オネジ
電	電源	AC100V (50/60Hz)
気	消費電力	78W
開	凍結予防時	192W
係	電源コード	VCT (2心) 機外長2.0m
安	全	水流検知装置 (水量センサー)
装	置	送風検知装置 (回転数検知方式)
		漏電安全装置 (漏電リレー)
		凍結予防装置 (電気ヒーター)
		残火安全装置 (パイメタル式)
付	属	アース線・壁固定金具一式
別	売	メインリモコン・サブリモコン・防湿型サブリモコン・リモコンコード

【能力表】

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量	出湯能力 (最大時) (ℓ/min)		ガス接続
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	62.2kw	(33)	20.6	20A (R3/4)

- ◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
- ◎出湯能力は、水圧200kPaのときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。()内の数値は相当能力です。
※十分な出湯能力を出すためには、200kPa以上の水圧が必要です。
- ◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- P.19~P.22の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順 (付近の目印等)
 - (2) 品名: 633-1000型 (N)633-1000
大阪ガス株式会社
21-033-64-02955
(ガスの種類: 例えば13A)
(上のようなラベルを機器前面に貼付してあります。)
 - (3) 現象 (故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- この製品の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) の最低保有期間は製造打切り後7年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、P.24を参照してください)
 - (4) 電源プラグを抜きます。